山内さん 消防全国表彰

高知県女性防火クラブ連絡協議会副会長の山内康子さん（繁藤婦人防火クラブ会長）が**平成２６年度安全功労者総務大臣表彰**を受賞されました。

山内康子さんは、平成１６年１２月から高知県女性防火クラブ連絡協議会副会長を長く務められ、その豊富な見識と卓越した指導力で、地域のみならず県内の防火思想の普及・啓発に多大な貢献をしたことが評価されたものです。本年は全国で個人１５名、団体は１０団体が受賞しています。

繁藤婦人防火クラブは、昭和６１年４月１日に結成（平成２６年８月現在で会員数２６名）され、長年にわたり防火・防災の啓発や、地域の火災予防のための活動を続けています。

被災家族保養キャンプ

７月２３日から３０日にかけて、ほっと平山（土佐山田町平山）で、**高知・のびのび青空キャンプ in 香美**が開催されました。

このキャンプは、東日本大震災を機に高知県へ避難・移住してきた家族らの主催で、昨年に続き３回目。福島第一原発事故の放射線被害に不安を持つ東北・関東地方在住の親子のために、短期間の保養キャンプが実施されました。

福島や避難先の東京・千葉・埼玉から１０家族２７人（大人１０人・子ども１７人）が参加し、バーベキューや川遊びを楽しみました。

▲すいか割りを楽しむ子どもたち

参加者の１人は、「屋外で思い切り遊んだり、安心して食事ができるというのは、当たり前のことのように思われているかもしれないが実はかけがえのないこと。参加できてよかった。来年もまた来たい」と話していました。

▲流しそうめんを満喫

香美市の大自然を感じながら、野外での活動をのびのびと楽しむことで、参加した親子は心も体もリフレッシュできたようでした。

森の館の実験室

７月２７日、土佐山田町大平の**県立森林総合センター情報交流館**で、森の館の実験室が開催されました。

これは情報交流館が主催したもので、親子連れ約２００人が訪れ、高知工科大学の学生の皆さんも講師として参加しました。

ドライアイスを使った実験や紙すき体験、ペットボトルロケットなど、７つの体験ブースが用意されており、子どもたちは新鮮な驚きとともに、森の館で行われた実験を楽しんでいました。子どもたちにとっては、いろいろな体験や実験を通じて、科学の世界に触れる良い機会となりました。

▲紙すき体験・紙の材料って植物だったんだ！

来年もきれいに咲いてね

７月１３日、香北町内の国道１９５号沿いでアジサイのせん定作業が行われました。

毎年、香北町内の各種団体・事業所・県出先機関・市役所職員で花の終わったアジサイのせん定を行っており、今年は１０２人が参加しました。

蒸し暑い天候の中、参加者らはテキパキと作業を進めていました。各地域の方によって手入れが行われている箇所もあり、来年も美しい花を咲かせてもらう準備がひとつ整いました。

生涯学習推進大会

▲舟入小学校の活動発表

７月５日、奥物部ふれあいプラザで**第９回香美市生涯学習推進大会**が開催され、約８０人が参加しました。大会は県民運動『早ね　早おき　朝ごはん』の着ぐるみの舞台劇からにぎやかに始まり、舟入小学校・大栃中学校・奥ものべじじばばあんぜん会が活動発表を行いました。参加した子どもたちが楽しめる企画として、こどもの工作教室・スタンプラリー・絵本の読み聞かせなどがイベントコーナーで行われました。

講演会はセラピードッグの訓練カリキュラムの考案者であり、音楽家として世界各国で活躍しながら、セラピードッグの育成・普及に努めている大木トオルさんに、日米の病院や各高齢者施設、障がい者施設でセラピードッグがどのような活躍をしているかを、捨て犬や被災犬の問題も含めて熱心に話していただきました。

▲工作教室でスライム作り

ダンボールアート遊園地

６月７日～８月３１日の期間、香美市立やなせたかし記念館・別館で、ダンボールアート遊園地が開設されました。

これは、大人も子どもも童心に帰って気軽に楽しめる作品を紹介する『おもちゃごころシリーズ』の第８弾として企画されたものです。ダンボールを材料にしたシーソーや電車の滑り台、迷路などの遊具が会場いっぱいに並べられ、訪れた家族連れはダンボールの優しい感触を楽しみながら、歓声を上げて楽しんでいました。

紫陽花コンサート

６月２１日、吉井勇記念館で紫陽花コンサートが開催され、高知県で初めて結成されたハーモニカアンサンブルグループである**橘ハーモニカクラブ**の皆さんによる演奏が披露されました。

吉井勇作詞曲の『ゴンドラの唄』をはじめ、『高校３年生』『手のひらを太陽に』などの懐かしい歌謡曲・童謡が演奏され、来場した方々は会場に飾られた紫陽花とともに、迫力あるハーモニカの音色を楽しんでいました。